

組織現勢 (9月1日現在)
 組合員数 23,875世帯
 出資口数 80,032口
 7・8月の新規加入 39世帯
 7・8月の増資口数 718口

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
 本部事務局 大田区大森中1-22-1 2階
 TEL (3762) 0266
 振込銀行 さわか信用金庫大森支店
 口座(普) 0469459
 発行 「城南の保健」編集委員会
 毎月1回発行・定価1部 30円

R100 古紙配合率100%再生紙
 を使用しています。

秋の仲間増やし月間 スタート(10月1日~11月30日)

スローガンは
**「11月17日(土) 30周年祝賀会を700
 世帯の仲間を増やして迎えよう」**
 です

《月間の目標》

- 10月1日(月)~11月17日(土) 城南保健生協30周年記念祝賀会までの間に700世帯の仲間を増やします。
- 後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願署名を5,000筆集めます。
- 簡単らくらく、便を提出するだけでOK、しかも郵送でできる「大腸ガン検査」を500人の方に受けていただきます。
- 組合員と民医連をつなぐ月刊誌「いつでも元気」の購読者を30人増やします。



組合員のみなさん、こんにちは。理事長の小関です。「今年も仲間増やし月間」がやってきました。この月間では、約2カ月で700人の新しい仲間を増やすことが大きな目標です。来年4月から実施されようとしている「後期高齢者医療制度」は75歳以上のすべての高齢者から保険料を徴収し、高齢者に差別

医療を強いる悪法です。私たち城南保健生協は、この制度を中止・撤回させることに全力をあげて取り組んでまいります。そのためにも多くの新しい仲間を増やし、大きな運動にしていくことが大切です。また、来年は新大田病院建設の着工が予定されています。地域の仲間を増やし、ぜひとも成功させましょう。城南保健生協と一緒に健康づくり運動に参加していただけるお友だちをぜひ紹介していただければと思います。11月17日、30周年記念祝賀会を700世帯の仲間を増やして迎えたいと思います。よろしくお願いたします。

第23回 大田・品川
 みんなで手をつなごう
健康まつり
 誰でもが安心して住み続けられるまちづくりを!
 安全・安心の医・食・住と平利について一緒に考えてみませんか?

10月28日(日)
 10時~15時
丸子橋緑地

お楽しみ抽選つき賛助券200円
 楽しくたのびになる企画が盛りだくさん!

健康スタンプラリー・相談コーナー・相談コーナー
 医療・介護・健康・食生活の相談コーナー
 産産野菜販売
 フリーマーケット
 秋どき、まなびの場・フリーマーケット・お楽しみ抽選つき賛助券200円
 安全・安心の食料使用の各種健康食品にも楽しい企画が盛りだくさん

大田・品川健康まつり実行委員会
 大田区大森中1-22-1 城南保健生活協同組合内
 TEL 3762-0266 FAX 3762-0239

お楽しみ抽選つき賛助券200円
フリーマーケット・模擬店・出店者募集!!
 詳しくは、健康まつり実行委員会事務局 城南保健生協内
 ☎ 3762-0266 (担当・野口まで)

城南保健生協
「創立30周年記念祝賀会」
 のご案内

城南保健生協は、今年で30周年を迎えます。30年の歴史から学び、これからの活動の力にすべく「記念祝賀会」を行います。多くの組合員のみなさまの参加をおまちしています。

11月17日(土) 18:00開場
 18:30開会
大田区民ホール アプリコ展示室
 参加費 3,000円

当日は、ピアノ演奏、30年を振り返るスライド、支部からの楽しい出し物などを予定しています。申込みは、生協本部までお願いします。

腹八分
 先日たいへん痛ましい事件が発生しました。帰宅途中の女性を、3人組の男が強盗目的に拉致、そして死に至らした事件です。まさに現在の日本を象徴する事件です。犯人は携帯で結びつき、そのことで小さいながら組織になり、個人から組織的な行為へ踏み込んでいきました。そこにはもう個人の持つ良心や自制が働かなくなっています。いま政府は「後期高齢者医療制度」の導入をはかっています。制度の内容は、75歳になればこれまでの公的医療保険から強制的に新制度に組み込まれます。これまで扶養家族であった高齢者にも適応され、すべての人に保険料が課せられることとなります。高齢者の医療を制限するとともに、保険料は年金から天引き、滞納者には保険証を取り上げるといったものです。政府という組織が弱者に襲いかかる構図は、まさに先に述べた犯罪事件と共通しており、現在の日本を象徴しています。美しい国、豊かな日本をめざしながら、その当事者たちには責任がうかがえずチェック機能も働いていません。そのことが新たなネットカフェ難民、医療難民を増大させています。美しい日本を標榜した総理が突然辞任しました。戦前の弱者に犠牲を求めた体制を美しいと勘違いしていた総理は、自らの美しさを示すことなく退陣しました。高齢者弱者が大切にされる国が美しいことを国民は知っています。